



特別勘定（世界バランス型30AF）

四半期運用実績レポート

2011年1月～2011年3月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。母体であるステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2011年1月~2011年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2011年1月~2011年3月]

【日本株式市場】

国内株式市場は、前半は米景気回復への期待から上昇しましたが次第に弱含み、東日本大震災を受けて急落しました。その後は反発を見せ、下げ幅を縮小しました。

前半は、北アフリカ・中東情勢への不安などから下落する場面もあったものの、米国の景気回復への期待が強く上昇基調で推移しました。しかし、2月下旬にリビア情勢が緊迫化し原油価格が高騰すると、世界経済への影響が意識され弱含み展開となりました。3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とその後の原発事故を受けて、株式市場は急落しました。しかし、突っ込み警戒感からの自律反発や円売り協調介入により落ち着きを取り戻し、期末にかけては海外株式市場の上昇や円安の進行を受けて上昇し、下げ幅を縮小して終わりました。

業種別では、原油価格の高騰が好感された「鉱業」(前四半期比+31.95%)が最も上昇した一方、地震による被災の影響が大きかった東京電力と東北電力の大幅下落で「電気・ガス業」(前四半期比▲24.34%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

海外株式市場は、好調な米マクロ経済指標や企業業績を背景に上昇しましたが、日本の大地震や北アフリカ・中東の政情不安、新興国での金融引き締めなどを受けて一時的に調整する場面も見られました。

米国株式市場は、製造業関連のマクロ指標や企業の好決算を材料に上昇基調を維持する一方で、日本の大地震や北アフリカ・中東情勢の不安定化による原油価格の急騰などによって、世界的に景気が減速するとの懸念から一時的にリスク回避的な動きが見られました。その結果、株価が下落する局面もありましたが、期を通すと上昇基調を維持しました。

欧州株式市場は、域内のマクロ経済指標や銀行の好決算などを好感し上昇して始めました。しかし、北アフリカ・中東の政情不安による欧州経済の下振れリスクの高まり、インフレの高まりによる利上げ観測、ソブリンリスクの再燃などを悲観し株価が調整したのに加えて、日本の大地震を受けて保険会社などが急落しました。しかし、パニック的な売り巡後は割安な銘柄を中心に反発し、期を通すと主要株価指数は横ばいから上昇を維持しました。

アジア市場は、米国経済の回復や中国の力強い成長などを材料に上昇して始まりましたが、新興国での金融引き締めの継続や原油価格の急騰によるインフレ懸念、日本の大地震などの材料にネガティブに反応しました。日本や欧米市場が落ち着きを取り戻したことを好感して上昇するものの、緩やかな上昇に留まりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、期前半は、1月に発表された堅調な景気動向指数や第3次産業活動指数の改善など経済指標の底堅さに加え、米格付け会社が日本国債の格付けを1段階引き下げたことを受けて債券が売られる展開となりました。ただし、期後半には東日本大震災の発生を受けて投資家のリスク回避姿勢が高まったことから債券が一時的に買われました。日銀は期を通じて政策金利を据え置きとしました。日本の10年国債利回りは前期末から+0.132%上昇の1.260%となりました。無担保コール翌日物は前期末から▲0.017%低下の0.062%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、期上半、第4四半期GDP速報値の上昇や12月失業率の低下など堅調な経済指標を受けて債券が売られました。その後、中東情勢悪化懸念から債券が一時的に買われたものの、期末にかけては量的金融緩和の見直しを示唆する米連邦準備理事会(FRB)高官のタカ派的発言を受けて債券が売られました。米国10年債利回りは前期末から+0.176%上昇の3.470%となりました。

欧州市場は、期前半、欧州委員会メンバーが欧州金融安定化基金(EFSF)の規模や活動範囲の拡大を主張したことを受けて、質への逃避先として選好されていた独債が売られました。期後半は、トリシェ欧州中央銀行(ECB)総裁の継続的なタカ派スタンスにより利上げの可能性が高まったことを受けて債券が売られました。英国市場は目標を上回るインフレ率でイングランド銀行(BOE)による早期利上げ観測が広がったことで債券は売られました。独10年国債利回りは前期末から+0.391%上昇の3.354%、英10年国債利回りは+0.293%上昇の3.689%となりました。

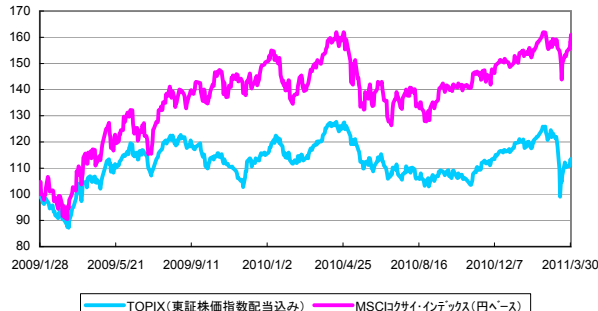
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、3月、東日本大震災の発生を受けて日本の保険会社の円買い需要が高まるとの見方や日本の投資家の円売りポジション解消を背景に円が対米ドルで最高値を更新し、一時1ドル76円台に達しましたが、その後主要7カ国(G7)による円売り協調介入実施を受けて円売りドル買い圧力がかけられました。円は対米ドルで前期末から1円66銭(2.04%)円安ドル高の1ドル=83円15銭となりました。

ユーロ/円相場は、米格付け会社による欧州周辺国債に対する格下げが相次いだものの、堅調な独経済指標やユーロ圏インフレ指標の上昇に加え、トリシェECB総裁による利上げの示唆がユーロの対主要通貨での買い材料となりました。円は対ユーロで前期末から9円67銭(8.96%)円安ユーロ高の1ユーロ=117円57銭となりました。

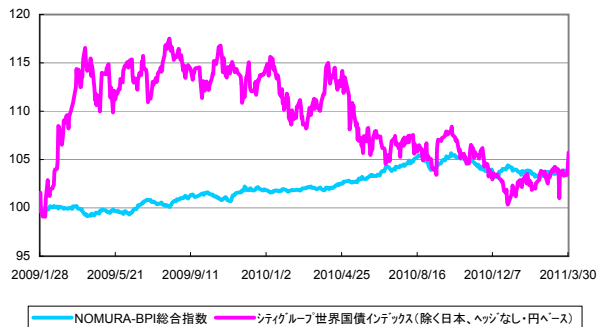
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



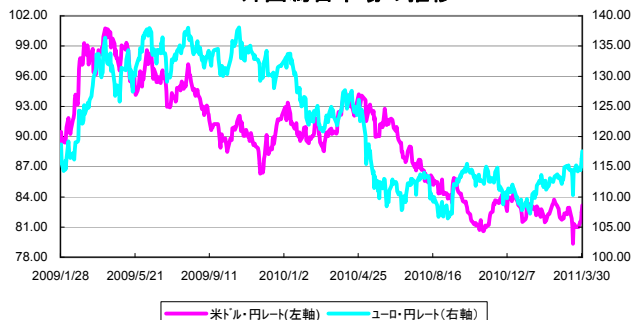
日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



出所: ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーク)
出所: ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーク)

外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

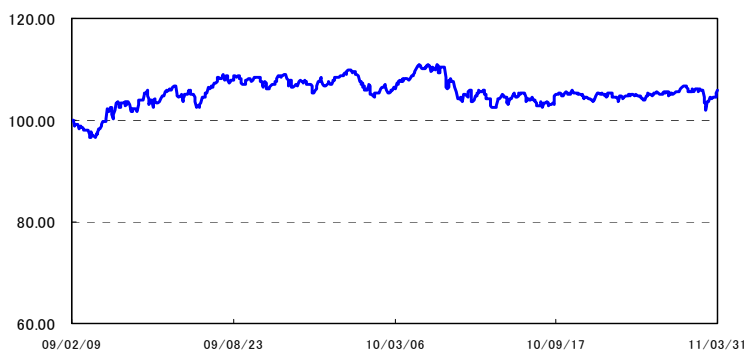
変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2011年1月～2011年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2011年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界バランス型30AF	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、内外の株式・公社債への分散投資を図り、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ● 基本配分比率は原則として以下の通りとします。 日本株式10% (運用の指標: TOPIX(東証株価指数配当込み))、 日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、 外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ・インデックス(円ベース))、 外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)) * * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の15% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。 ● 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA2 <適格機関投資家限定>	

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年2月9日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率(%)	
2011年3月末	105.95	過去1ヶ月	0.30%
2011年2月末	105.64	過去3ヶ月	1.79%
2011年1月末	104.82	過去6ヶ月	0.57%
2010年12月末	104.09	過去1年	▲3.30%
2010年11月末	104.06	過去3年	—
2010年10月末	103.88	設定来	5.95%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	世界バランス型30AF	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	692,018	99.0%
現預金・その他	6,861	1.0%
合計	698,879	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

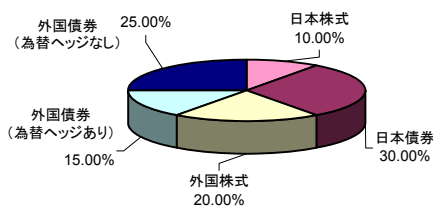
変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2011年1月～2011年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の運用状況 [2011年3月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



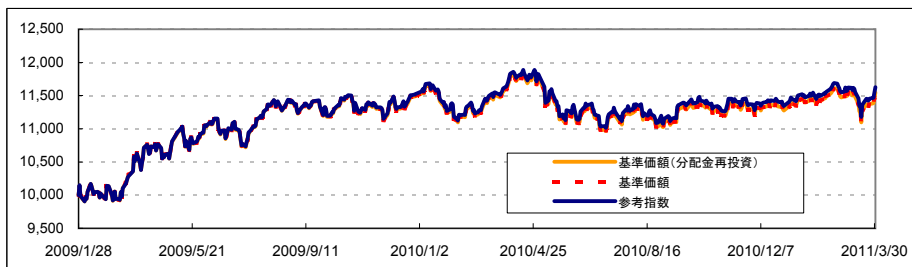
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*
 *当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の15%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の設定日(2009年1月28日)を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.315%程度(税抜0.30%程度))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)25%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2011年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	11,544 円	11,486 円	58 円
純資産総額(百万円)	692	704	▲ 12

	基準価額	日付
設定来高値	11,842 円	2010年4月15日
設定来安値	9,905 円	2009年2月3日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	9.61%
日本債券	30.00%	29.63%
外国株式	20.00%	20.66%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	15.24%
外国債券(為替ヘッジなし)	25.00%	25.26%
短期金融資産	0.00%	▲0.38%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.50%	2.39%	1.75%	▲1.05%	-	15.43%
参考指数	0.56%	2.51%	1.91%	▲0.71%	-	16.26%
差	▲0.05%	▲0.11%	▲0.16%	▲0.34%	-	▲0.83%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	39.23%
アメリカ	26.52%
イギリス	5.33%
フランス	5.01%
ドイツ	4.78%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	54.47%
米ドル	20.52%
ユーロ	14.10%
ポンド	4.14%
加ドル	1.97%

- ・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命保険株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート (2011年1月～2011年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

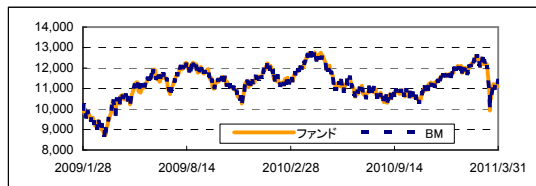
各マザーファンドの運用状況 [2011年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : TOPIX (東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 112,985 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	▲7.64%	▲2.18%	6.12%	▲9.20%	-	13.56%
ベンチマーク	▲7.61%	▲2.18%	6.10%	▲9.23%	-	13.53%
差	▲0.02%	0.00%	0.02%	0.03%	-	0.03%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,662 銘柄

	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.71%	3.69%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.47%	2.46%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.27%	2.26%
4	キヤノン	電気機器	1.94%	1.93%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.66%	1.65%
6	三菱商事	卸売業	1.57%	1.56%
7	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.44%	1.43%
8	武田薬品工業	医薬品	1.31%	1.30%
9	ソニー	電気機器	1.29%	1.28%
10	ソフトバンク	情報・通信業	1.25%	1.24%
	合計		18.93%	18.80%

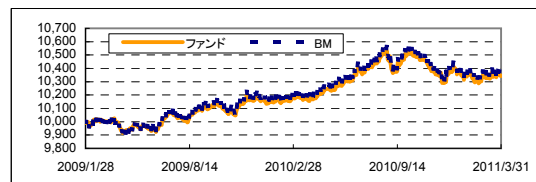
組入上位10業種

	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	14.85%	14.75%	0.09%
2	輸送用機器	10.17%	10.10%	0.07%
3	銀行業	9.17%	9.12%	0.05%
4	化学	5.99%	5.96%	0.04%
5	情報・通信業	5.84%	5.81%	0.04%
6	卸売業	5.70%	5.67%	0.04%
7	機械	5.48%	5.45%	0.03%
8	医薬品	4.53%	4.50%	0.03%
9	電気・ガス業	3.70%	3.67%	0.02%
10	小売業	3.50%	3.48%	0.02%
	合計	68.94%	68.51%	0.43%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 189,573 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	0.01%	▲0.68%	▲1.50%	1.84%	-	3.43%
ベンチマーク	▲0.01%	▲0.69%	▲1.50%	1.81%	-	3.69%
差	0.01%	0.01%	▲0.00%	0.03%	-	▲0.26%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 960 銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第240回利付国債	1.300%	2012年6月20日	1.88%	0.54%
2	第88回利付国債	0.500%	2015年3月20日	1.22%	1.13%
3	第90回利付国債	0.300%	2015年6月20日	1.16%	0.40%
4	第87回利付国債	0.500%	2014年12月20日	1.11%	1.13%
5	第273回利付国債	1.500%	2015年9月20日	1.10%	0.62%
6	第264回利付国債	1.500%	2014年9月20日	1.10%	0.58%
7	第305回利付国債	1.300%	2019年12月20日	1.08%	1.06%
8	第303回利付国債	1.400%	2019年9月20日	1.03%	0.69%
9	第63回利付国債	1.200%	2012年3月20日	1.01%	0.00%
10	第300回利付国債	1.500%	2019年3月20日	0.99%	0.33%
	合計			11.68%	6.48%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	76.18%	75.03%	1.15%
地方債	6.70%	7.23%	▲0.53%
政府保証債	4.67%	4.75%	▲0.08%
金融債	1.59%	1.57%	0.01%
事業債	9.83%	9.36%	0.47%
円建外債	0.32%	0.77%	▲0.45%
MBS債	0.96%	1.29%	▲0.33%
コール・その他	▲0.24%	0.00%	▲0.24%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券 (ABS) は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.88%	0.90%	▲0.02%
平均クーポン	1.50%	1.48%	0.02%
平均残存期間	7.84	7.70	0.14
修正デュレーション	6.79	6.75	0.04

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 (07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート (2011年1月～2011年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

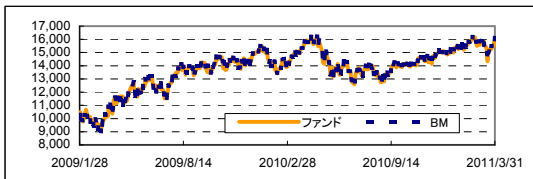
各マザーファンドの運用状況 [2011年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 155,481 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.79%	8.21%	14.30%	3.54%	-	60.48%
ベンチマーク	2.82%	8.26%	14.30%	3.47%	-	60.94%
差	▲0.03%	▲0.06%	0.00%	0.07%	-	▲0.46%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,321 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.78%	1.84%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.33%	1.38%
3	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.91%	0.94%
4	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.89%	0.93%
5	IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.85%	0.88%
6	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.84%	0.87%
7	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.82%	0.85%
8	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	0.78%	0.81%
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	0.76%	0.78%
10	AT & T INC	アメリカ	電気通信サービス	0.76%	0.78%
合計				9.71%	10.07%

・ ベンチマーク (BM) の比率は2011年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	12.52%	12.98%
2	銀行	8.09%	8.34%
3	素材	7.90%	8.14%
4	資本財	7.73%	8.01%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.70%	6.94%
6	食品・飲料・タバコ	5.83%	6.04%
7	各種金融	5.38%	5.57%
8	ソフトウェア・サービス	5.07%	5.25%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.15%	4.30%
10	保険	4.14%	4.27%
合計		67.52%	69.85%

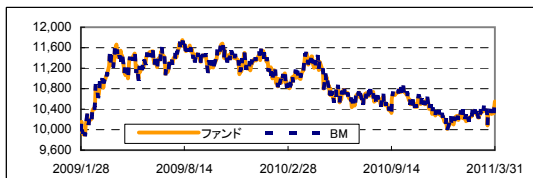
組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	52.56%	54.44%
2	イギリス	10.22%	10.60%
3	カナダ	5.90%	6.12%
4	フランス	4.86%	5.04%
5	オーストラリア	4.31%	4.33%
6	ドイツ	4.08%	4.24%
7	スイス	3.74%	3.88%
8	スペイン	1.73%	1.79%
9	スウェーデン	1.54%	1.60%
10	イタリア	1.39%	1.44%
合計		90.34%	93.49%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 258,402 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.12%	5.38%	▲2.08%	▲6.26%	-	5.49%
ベンチマーク	3.13%	5.38%	▲2.00%	▲6.16%	-	5.73%
差	▲0.01%	▲0.00%	▲0.08%	▲0.10%	-	▲0.24%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 412 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年11月15日	1.06%	0.24%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2012年5月15日	0.96%	0.27%
3	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	0.83%	0.55%
4	アメリカ国債	米ドル	1.125%	2012年12月15日	0.83%	0.30%
5	アメリカ国債	米ドル	4.875%	2012年6月30日	0.82%	0.09%
6	ドイツ国債	ユーロ	4.000%	2012年4月13日	0.80%	0.19%
7	アメリカ国債	米ドル	1.500%	2013年12月31日	0.80%	0.21%
8	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2015年11月15日	0.79%	0.19%
9	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2013年8月15日	0.77%	0.23%
10	アメリカ国債	米ドル	11.250%	2015年2月15日	0.76%	0.07%
合計					8.42%	2.33%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

・ ベンチマーク (BM) の比率は2011年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	38.68%	38.86%
2	イタリア	10.25%	10.27%
3	フランス	9.90%	9.91%
4	ドイツ	9.72%	9.72%
5	イギリス	7.96%	7.96%
6	スペイン	4.49%	4.48%
7	カナダ	2.97%	2.98%
8	ベルギー	2.72%	2.73%
9	オランダ	2.47%	2.47%
10	オーストリア	1.86%	1.85%
合計		91.01%	91.22%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	2.95%	2.92%	0.02%
平均クーポン	4.24%	3.66%	0.58%
平均残存期間	8.12	8.05	0.07
修正デュレーション	5.82	5.81	0.01

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 上記の属性は2011年3月30日時点のものです。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命「ムネ」 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D 2型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動にともなう投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用 投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜:年率0.30%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

- 【一般勘定で運用する年金の支払期間中】 ※一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)有期D2型「いつでも夢を」は現在販売していません。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>